

グループホームすこやか

特色

認知症専門スタッフの援助を受けながら、ご家庭と近い環境で生活を送ることができます

1. 出来ることに目をむけて、共同生活を送る

グループホームすこやかでは、認知症が進み家での生活が難しくなった方を認知症専門スタッフの援助を受けながら、1ユニット9名で24時間・365日で共同生活を送ります。利用者様の持てる力を活用出来る支援を行います

2. ひとりひとりに合った支援

認知症は脳の病気により、様々な行動心理症状(BPSD)が発症します。行動心理症状の支援では、やらない・駄目と言った否定的対応は行いません。専門スタッフが尊厳を重視し、ひとりひとりの意欲を引き出しながら安心・安全に生活を過ごして頂きます。

3. 地域の人々との繋がりがもてる

認知症になっても住み慣れた地域で、尊厳のある暮らしが続けられ、地域住民と一緒に共生し、地域全体で認知症の方を支えられる施設を目指します。

サービス内容

サービスの特徴としてグループホームすこやかでの主な生活支援は以下の通りになります。

食事支援

入居者様のお身体の状態に合わせた食事を提供致します。又、職員と一緒に共同で食事作りも行いますので、料理がお好きな方も楽しみを持ちながら生活して頂けます。

排泄支援

排泄リズムの評価を行い、入居者様に適した排泄介助を行います。また失禁により汚染をされた場合でも、気持ちよく過ごして頂くよう職員が清潔管理の支援を致します。

入浴支援

入居者様の生活リズムを配慮し、お好きな時間帯に入浴も可能です。支援が必要な方については、個別対応で入浴支援を致します。

外出支援

入居者様と職員と一緒にお店に行って外食・買い物なども個別に対応が行えます。又、遠くへ車で出かけて観光を行ったり、入居者様の親族のお墓まいりやふるさとへ行くなども企画しています。

グループホームすこやか 認知症ケア予防プログラム

○認知症のプログラムとして、脳に刺激を与えたり、達成感や喜びを感じることで認知症状の改善が見込めます。

アロマセラピー

認知症状の緩和としてアロマが良いと言われています。眠りが改善されたり、食欲増進につながるオイルもあります。

化粧・ネイル

グループホーム女性職員が外出時や各種行事に合わせ、お化粧をさせて頂きま
す。季節に合わせ、着物なども着用しま
す。

音楽療法

グループホームにボランティア団体をお招きして、コンサートを入居者で聴きます。又、音楽に合わせて昔懐かしい歌を歌うことで、昔の記憶が改善されたりします。

園芸療法

職員と一緒に河川敷へ花を摘みに行き、生け花としてお部屋に飾って頂けます。敷地内で、野菜や花の栽培も行います。

料理づくり

認知症が進行してくると、器具の操作や料理のやり方がわからなくなってきました。誰かが付き添うことで、昔やっていた行動を思い出すと言われていました。誰かの為に作る役割を持つことで満足感も得られます。

趣味・嗜好

入居者様の生活歴を紐解いて、グループホームの生活の中で個別に取り入れます。生活リズムに張りをもたせることや、活動量を増やすことが期待されます。

現実見当識訓練

場所や日時がわからなくなると、生活の中で不安を多く抱えます。1日の予定が理解できることで、会話のきっかけも生まれます。

実行機能訓練

グループホームでは、掃除・洗濯・買い物・着替え・入浴などを職員と共同で行います。手先を多く動かすことで、運動能力の維持も期待できます。

入居者様の生活レベルに合わせた内容を個別に実施し、お好きな時間で行えます。

○入居後も安心の医療体制で、入居者様の健康管理を行います

1 入居中に急な体調不良が起きた場合

グループホームすこやかでは、入居者様の病状の急変及び連携体制に備えるため、予め協力医療機関・協力歯科医療機関・協力福祉施設を定めています。24時間365日、夜間・祝祭日の緊急時対応も可能です。

協力医療機関 マツミクリニック・玉島中央病院

協力歯科医療機関 岡山大塚歯科医院

協力福祉施設 地域密着型特別養護老人ホーム
社会福祉法人 温故知新会 「光の里」

2. 体調不良等で、入院が必要になった場合

□グループホームを離れる期間が、3ヶ月以内の場合

入居者様が病気の治療等でグループホームを離れる期間が3ヶ月未満の場合は、退去することなく、退院後も以前と変わりなく生活も可能です。

※その際は入居者様の身体状況を検討し、グループホームでの生活が可能であれば生活していただきます。

居室料金のみは、グループホームを離れた期間中もお支払いが必要になります。

□グループホームを離れる期間が、3ヶ月以上の場合

ご入居者様がご入居者様が病気の治療や身体機能低下により、入院や他施設入所で3ヶ月以上離れる場合は、グループホームを一度退去をする手続きを行う必要があります。

※入院後や・他施設での生活後、グループホームでの生活が行える身体状況であれば、再度ご入居も可能です。

その際は、お申し込みの順番で入居になりますので、ご希望の日にご入居できない可能性もあります。

「ご利用までの流れ」

グループホームすこやかに入居するには
かかりつけの認知症診断書原本が必要になります。

地域福祉連携相談室への相談

ご利用可否の決定連絡

サービス担当者会議・契約

利用開始

秀明荘地域福祉連携相談室(直通)

086-523-0401

概要

定員 18床

和色 9床 つばさ 9床

対象者

□要支援2～要介護5と認定されている方

□倉敷市に住民票がある方

□主治医より認知症と診断された方

グループホーム入居時に持ってきていただくもの

保険者証書類

診療情報提供書
介護保険被保険者証
介護負担割合証
後期高齢者医療被保険者証
認知症の診断書原本
サービス計画書(お持ちの方)
玉島中央病院 診察券(お持ちの方)

衣類、生活用品等

名称	数量
 タオル類	バスタオル 3枚 小タオル 6枚
 パジャマ	パジャマ上下 5セット
 普段着(上)	着替え用 5着
 ズボン(下)	着替え用 5着
 肌着類	(上)肌着 (下)下着 5セット
 靴下	着替え用 5足
 羽織	温度調節が行える羽織(秋～冬) 2着
 エプロン	朝・昼・夕の3枚のご用意をお願いいたします。
 お薬	内服薬をと説明書を共にご持参ください。 外用薬の処方あれば、使用部位など記入の上ご持参ください。
 物品	男性の方は、髭剃りをご持参ください。
 口腔ケアセット	義歯使用の方は、義歯ケースと義歯洗浄剤をご持参ください。 歯ブラシは施設で用意します。
 靴	室内・室外用靴 1足ずつ。 (足の形に適し、歩行しやすい物)

その他

家族写真や思い出の写真、時計・本、化粧品、夜間用湯飲み・寝飲み、眼鏡・虫眼鏡 等

ご利用者・ご家族様へのお願い

1. 持ち物の管理について (ベッド・タンス・エアコンは備え付けであります)

- ①衣類につきましては、普段ご家庭で着用なさっているもので結構です。
※着慣れたものが緊張を和らげ安心につながります。
※お手数ではありますが、季節に応じてご家族で衣類などの交換をお願いします
- ②持ち物には必ずフルネームでの「お名前」の記入をお願いします。
※ご記入がない場合、職員が記入させていただく場合がありますのでご了承ください。
- ③はさみなどの刃物やライター等の火器類の持ち込みは、安全の為ご遠慮ください。
- ④現金や貴重品は紛失の恐れがありますので、持ち込みを希望される場合は
ご相談ください。
※貴重品の管理は施設での責任は持てませんので、紛失しても納得できる額、
物でしたら個人管理にて持込いただける場合もあります。

2. 希望により持ち込み可能な物(持参される方はご相談下さい)

- ①テレビ ※電気代が別途必要になります
- ②電気毛布、あんかなど※電気代が別途必要になります
- ③自宅で使用されている寝具(使い慣れた物がよろしければ)



3. 自助具・補装具・福祉用具

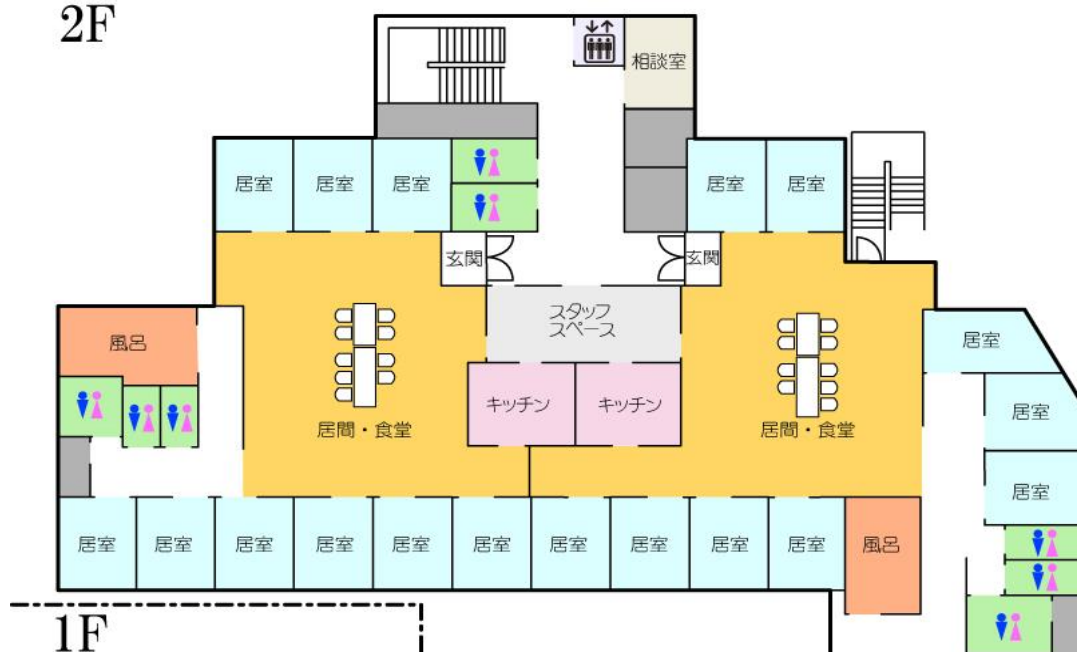
- ①食事に使用するお箸・食器等
- ②下肢に装着する補装具
- ③歩行器・老人車・車椅子・ポータブルトイレ等
- ④ご家庭で使用されている物があれば、ご持参下さい

【内観】



【フロアマップ】

2F



1F



駐車場の2階にて運営しています。

○空室情報

空室情報、待機者の情報をホームページで公開しています。
下記QRコードから空室情報のページを表示できます。

